

滋賀県「びわ湖カーボンクレジット倶楽部」のクレジットを活用した 「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」でのカーボン・オフセットについて

2025 年 8 月 28 日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）は、滋賀県（知事：三日月 大造）が発行した「びわ湖カーボンクレジット倶楽部（滋賀県産 J-クレジット）※¹」のクレジットを購入し、そのクレジットを、今秋滋賀県で開催される「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」に提供します。国スポ・障スポの開会式における「会場内外の施設・設備の利用」および「製品の製造」による CO₂ 排出量のオフセットに充当したうえで、障スポ閉会式の実施に伴い排出される CO₂ についても一部オフセットを行い、両大会の式典における実質的な CO₂ 排出量の削減に貢献します。



「びわ湖カーボンクレジット倶楽部」クレジット贈呈式の様子
(左から、滋賀県 岸本 織江 副知事、大阪ガス 須藤 治 常務執行役員)

<「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」におけるカーボン・オフセットの概要>

大阪ガスは 2025 年 2 月に、滋賀県内の CO₂ 削減活動を取りまとめて滋賀県が発行した「びわ湖カーボンクレジット倶楽部」のクレジット 351t-CO₂ を購入しており、今回そのクレジットを提供します。

- ・オフセット対象：わた SHIGA 輝く国スポ・障スポの開会式（国スポ：9 月 28 日、障スポ：10 月 25 日）で、以下により排出される CO₂
 - （１）会場内外の施設・設備
 - （２）製品の製造
- ・CO₂ 排出量：上記（１）（２）の合計 281.9t
- ・オフセット量：281.9t

- ・一部オフセット対象：わた SHIGA 輝く障スポの閉会式（10 月 27 日）で、以下により排出される CO₂
 - （１） 会場内外の施設・設備
 - （２） 大会関係者の移動
- ・CO₂排出量：上記（１）（２）の合計 546.2t
- ・オフセット量：69.1t

Daigas グループは、2025 年 2 月に発表した「Daigas グループ エネルギーtransition 2050」のもと、脱炭素社会に貢献する技術・サービスの開発に取り組み、気候変動をはじめとする社会課題の解決に努め、暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループを目指してまいります。

※1：滋賀県では、国の認証制度である「J-クレジット」に認証されたものの中で、県内で生み出されたクレジットを「びわ湖カーボンクレジット」として、普及促進の取組を進めています。J-クレジット制度は、（1）省エネルギー機器の導入、（2）再生可能エネルギーの導入 や（3）森林経営などの取組による CO₂などの温室効果ガスの排出量削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度で、環境省・経済産業省・農林水産省により運営されています。県では、J-クレジット制度に認証されたものの中で、県内で生み出されたクレジットを「びわ湖カーボンクレジット」としています。

以上